

東京都立石神井高等学校 平成31年度 教科（芸術）科目（音楽Ⅰ） 年間授業計画

教 科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第 学年 組～組

教科担当者：(A組：佐々木富美子)(B組：佐々木富美子)(C組：佐々木富美子)(D組：佐々木富美子)(E組：佐々木富美子)(F組：佐々木富美子)(G組：佐々木富美子)

使用教科書：（ TUTTI Ⅰ改訂版 ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目 音楽Ⅰの具体的な指導目標	評価の観点・方法	担当 時数
4 月	オリエンテーション 校歌 上を向いて歩こう 読譜：春が来た リズム表現：ヤンチャなチャチャチャ	校歌を暗譜し、愛着を持って歌わせる。 音符をドレミで正しく歌う訓練。 音符のリズムを理解し、等速感を身に付けさせる。	積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。	2
	校歌 上を向いて歩こう 読譜：春が来た リズム表現：ヤンチャなチャチャチャ 発表会	楽しみを持って、豊かに表現できるように練習する。 発表会の場で、練習の成果を発揮させる。真面目に取り組ませる。	積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。発表会 音楽的な表現力。アンサンブル力。	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	校歌テスト:暗譜で独唱	暗譜・相応しい表現、声量、音程で歌うことを意識し、取り組ませる。	実技テスト 練習への取組。発声、発音、曲の理解への学習の様子、テストでの出来栄。独唱能力。	2
5 月	応援歌 読譜:春が来た 上を向いて歩こう 合唱曲:手紙	応援歌に触れ、親しみを持たせる。 3部合唱で歌う。一人一人にしっかりと声を出させる。	音程の正しさ。音楽的表現力。発音の大きさ、音色のきれいさ、丁寧さ。	2
	応援歌 読譜:春が来た 上を向いて歩こう 合唱曲:手紙	応援歌に親しみをもち歌唱する。 3部合唱で歌う。一人一人にしっかりと声を出させる。	音程の正しさ。音楽的表現力。発音の大きさ、音色のきれいさ、丁寧さ。	2

指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
合唱曲:手紙 キーボードハーモニー:パッヘルベルのカノン	左手奏～右手奏～両手奏へと段階的に習得させる。メロディに対する伴奏として取り 組ませ、アンサンブルの楽しさを感じさせる。	読譜力、正しい指使い、演奏 力。アンサンブル能力。 練習への取組。	
合唱曲:手紙 キーボードハーモニー:パッヘルベルのカノン	仕上がりのイメージを持って取り組ませる。細かいところの反復練習を行う。 片手奏～両手奏の練習。	音程の正しさ。音楽的表現力。 発音の大きさ、音色のきれい さ、丁寧さ。取り組みの様子。	2
合唱曲:手紙 キーボードハーモニー:パッヘルベルのカノン	仕上がりのイメージを持って取り組ませる。細かいところの反復練習を行う。 片手奏～両手奏の練習。	音程の正しさ。音楽的表現力。 発音の大きさ、音色のきれい さ、丁寧さ。取り組みの様子。	2
合唱曲:手紙 キーボードハーモニー:パッヘルベルのカノン	仕上がりのイメージを持って取り組ませる。細かいところの反復練習を行う。 両手奏の練習。	正しい音程で、表現豊かにしつ かり声をだし歌えたか。暗譜で きているか。	2

6
月

指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
合唱曲：手紙 キーボードハーモニー：パッヘルベルのカノン	左手奏～右手奏～両手奏へと段階的に習得させる。メロディに対する伴奏として取り 組ませ、アンサンブルの楽しさを感じさせる。	表現豊かに歌い他の声を聴き アンサンブルできているか。 イメージを持って演奏している か。	2

7
月

8 月	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月 椰子の実 心の瞳 3部合唱: FIGHT キーボード: パッヘルベルのカノン	曲を理解し、相応しい表現で歌わせる。合唱曲に集中して取り組み、声を合わせる。両手奏に取り組ませる。	言葉の意味を考え、表現力豊かに歌唱しているか。メロディを感じ両手奏できたか。	2
椰子の実 心の瞳 3部合唱: FIGHT キーボード: パッヘルベルのカノン	曲を理解し、相応しい表現で歌わせる。合唱曲に集中して取り組み、声を合わせる。両手奏に取り組ませる。	言葉の意味を考え、表現力豊かに歌唱しているか。メロディを感じ両手奏できたか。	2
椰子の実 心の瞳 3部合唱: FIGHT キーボード: パッヘルベルのカノン	曲を理解し、相応しい表現で歌わせる。合唱曲に集中して取り組み、声を合わせる。両手奏に取り組ませる。	言葉の意味を考え、表現力豊かに歌唱しているか。メロディを感じ両手奏できたか。	2
椰子の実テスト	最後まで暗譜で歌う。強弱、ブレス、曲想を評価する。	実技テスト 正しい音程で、表現豊かにしっかり声をだし歌えたか。暗譜できているか。	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	キーボードテスト	メロディと合わせ、アンサンブルに取り組ませる。	実技テスト 積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。	2
10	リズムと歌：風になりたい ギター導入	ラテンのリズム表現に取り組ませる。 初歩からギター演奏を学ばせる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏まで出来るように指導する。	リズム感、音楽的な表現力。アンサンブル力。 練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。	2
10 月	リズムと歌：風になりたい ギター練習	ラテンのリズム表現に取り組ませる。 初歩からギター演奏を学ばせる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏まで出来るように指導する。	リズム感、音楽的な表現力。アンサンブル力。 練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。	2
	リズムと歌：風になりたい ギター導入	ラテンのリズム表現に取り組ませる。 初歩からギター演奏を学ばせる。	実技テスト 練習への取組。発声、発音、曲の理解への学習の様子、テストでの出来栄え。独唱能力。	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11	リズムと歌:風になりたい ギター弾き語り練習	歌に合わせて、リズム楽器でアンサンブル演奏に取り組ませる。リズム譜に慣れさせる。 1曲を通して、弾き語りできるまで、取り組ませる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏	実技テスト。練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。音楽的な表現力。アンサンブル力。	2
11	リズムと歌:風になりたい ギター弾き語り練習	歌に合わせて、リズム楽器でアンサンブル演奏に取り組ませる。リズム譜に慣れさせる。 1曲を通して、弾き語りできるまで、取り組ませる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏	実技テスト。練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。音楽的な表現力。アンサンブル力。	2
11	リズムと歌:風になりたい ギター弾き語り練習 鑑賞	歌に合わせて、リズム楽器でアンサンブル演奏に取り組ませる。リズム譜に慣れさせる。 1曲を通して、弾き語りできるまで、取り組ませる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏	練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。音楽的な表現力。アンサンブル力。	2
11	ギターテスト	弾き語り。歌とのバランス、演奏技能を評価する。	実技テスト。練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。音楽的な表現力。アンサンブル力。	2
11				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	ギターテスト	弾き語り。歌とのバランス、演奏技能を評価する。	実技テスト。練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。音楽的な表現力。アンサンブル力。	2
12				
12 月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月				
	アカペラ4部合唱: An die freude ハンドベルのグループ練習～仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。グループへの貢献、取り組みの様子。	2
	アカペラ4部合唱: An die freude ハンドベルのグループ練習～仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	音程の正しさ。音楽的表現力。発音の大きさ、音色のきれいさ、丁寧さ。グループアンサンブルの出来映え。	2

指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
アカペラ4部合唱: An die freude ハンドベルのグループ練習～仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	音程の正しさ。音楽的表現力。発音の大きさ、音色のきれいさ、丁寧さ。グループアンサンブルの出来映え。	2
アカペラ4部合唱: An die freude ハンドベル発表会に向けての仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	言葉の発音。音程。知識が身についているか。音楽を感じ取り聴けているか。	2
2月 アカペラ4部合唱: An die freude ハンドベル発表会に向けての仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	自分たちで工夫してアンサンブルできたか。読譜～ベルの配分～練習～発表の過程でのグループでの取組の様子。	2
ハンドベル発表会	練習の成果を発揮し、満足感を持てる発表となるように取り組ませる。	集大成として、心を合わせて合唱できたか。表現力豊かに演奏し、また、鑑賞できたか。	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				
	ハンドベル発表会	練習の成果を発揮し、満足感を持てる発表となるように取り組ませる。	集大成として、心を合わせて合唱できたか。表現力豊かに演奏し、また、鑑賞できたか。	2
	ハンドベル発表会	練習の成果を発揮し、満足感を持てる発表となるように取り組ませる。	集大成として、心を合わせて合唱できたか。表現力豊かに演奏し、また、鑑賞できたか。	2